

第3回福島第一廃炉国際フォーラム の結果について

2018年9月

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

無断複製・転載禁止 原子力損害賠償・廃炉等支援機構
©Nuclear Damage Compensation and Decommissioning Facilitation Corporation

第3回福島第一廃炉国際フォーラムの参加者数



フォーラム登壇者・来賓

8月5日（日）地元の皆様と考える1F廃炉 楢葉町
613名（福島県内：414名 67.5%、海外42名 6.9%）

8月6日（月）技術専門家と考える1F廃炉 いわき市
651名（福島県内：243名 37.3%、海外64名 9.8%）

2日間の合計 1,264名（のべ）

参考：第二回来場者 1,055名（のべ）

第3回福島第一廃炉国際フォーラムの概要

2018年8月5日(日) **地元の皆様と考える1F廃炉** 檜葉町コミュニティセンター

・地域住民の皆様からのご質問に、福島第一廃炉関係者(東電、経産省、NDF)がしっかりと
お答えするとともに、それを通じて、廃炉関係者が地域住民の皆様の想いを知り、今後の廃炉を進める。

ポイント 参加者数：613名

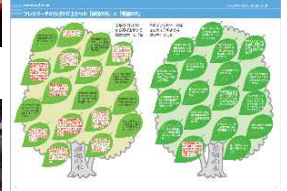
- 1) ほしいすふるむふくしま2018
地域住民の皆様への事前ヒアリングをまとめた冊子
より「浜通り」、「若い世代」にフォーカス
- 2) 「話す」セッションでの全員参加型意見交換
地域住民の皆様の積極的参加
- 3) 「問う」セッションでの廃炉関係者と地元登壇者のディスカッション
参加者や地元登壇者の疑問に廃炉関係者がお答えしました



「問う」セッション



グラフィックレコーディング



ほしいすふるむふくしま2018

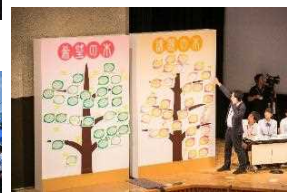
「話す」セッション



地域活動ポスターセッション



地元食材を使った昼食提供



希望の木、課題の木



無断複製・転載禁止 原子力損害賠償・廃炉等支援機構
©Nuclear Damage Compensation and Decommissioning Facilitation Corporation

第3回福島第一廃炉国際フォーラムの概要

2018年8月6日(月) **技術専門家と考える1F廃炉** いわき芸術文化交流館アリオス

・国内外の専門家が福島第一廃炉の最新の進捗、技術的成果を広く共有

ポイント 参加者数：651名

- 1) メインセッション「福島第一廃炉を切り拓く遠隔技術」
 - ・国内外の遠隔操作技術、ロボット技術の専門家を結集
 - ・海外のクリーンアップサイトでの活用状況を幅広く紹介
 - ・1Fでの最新の遠隔技術活用を経験を発表
 - 2) 技術ポスターセッション 国内外の関係機関が参加
 - 3) 学生向けセッションも開催
- ※同時開催：「福島復興学ワークショップ」

技術ポスター、ロボット展示



メインセッション (プレゼンテーション)



パネルディスカッション



会場



学生向けセッション



無断複製・転載禁止 原子力損害賠償・廃炉等支援機構
©Nuclear Damage Compensation and Decommissioning Facilitation Corporation